



## 1. 概要

- 山形市中心市街地の民間駐車場は、平日は通勤等によって稼働率が高く、休日は稼働率が低い現状になっている。稼働率の下がる休日の民間駐車場に着眼し、中心市街地内の小さな広場としての利活用を図る社会実験として参加者を募集し「Park(ing)Day YAMAGATA2025」を開催した。

### ○実施日時

- 令和7年10月12日（日）11：00～17：00 【雨のち曇り】

### ○会場

- ①アイパーキング（22台部分貸し）
- ②パラカ山形市本町第1（全面貸し）



▲会場位置図

## 2. 応募状況

- 営利目的の参加が4件、非営利（展示・体験）の参加が1件、合計で5件の応募があった。

開催までの流れ

- 参加者①：フリーマーケット（営利目的）
- 参加者②：果実販売、加工品販売（営利目的）
- 参加者③：加工品販売、果実販売（営利目的）
- 参加者④：ヒーリングサロン（営利目的）
- 参加者⑤：仮設建築物の展示（非営利）  
工芸品制作のライブパフォーマンス

日 程	内 容
8月6日（水）～	募集開始、質問の受付開始
9月10日（水）まで	質問受付および回答の期限
9月12日（金）	全質問回答公表
9月15日（月）まで	飲食出店エントリー
10月3日（金）まで	飲食を除くコンテンツのエントリー
10月12日（日）	<b>開催！</b>

- 応募には至らなかったが、エントリー時に募集した質問では、非営利での休憩スペースの展開などの企画案も検討されていた。

## 3. 当日の様子

- 午前中まで雨が降っているような状況であったが、一定の来訪者が出店ブースに足を運んでいた（写真参照）。
- 会場①では、駐車場の一部でPark(ing)Dayを開催していたため、駐車場の利用客がそのまま出店ブースに足を運ぶ様子が、多々確認できた。
- 営利目的で販売系の参加者では、どの店舗も一定の売上結果となった。
- 駐車場内にだれでも休憩できる滞在時間を設置したところ、来訪者による利用を確認した。
- 会場②では、体験ブースとして滞在時間に楽器や将棋・ボードゲームなども設置し、来訪者による利用を確認した。
- 駐車場の自動車混雑具合については、会場①、会場②（会場②は全面貸しのため隣接する民間駐車場の状態で確認）ともに最大で9割程度が埋まった状態で、イベント開催期間中どちらも満車にはならなかった。
- 入場口への駐車案内のチラシ設置や場内のカラーコーン設置による使用箇所の明示により、会場の安全性を確保した。



▲果実販売の様子



▲加工品販売の様子



▲仮設建築物の中で工芸品制作



▲フリーマーケット店の様子



▲ヒーリングサロン（奥）  
休憩スペース（手前）

## 4. ビジターアンケート調査

- ・駐車場の利活用による回遊性の向上・滞在時間の増加について、70%が「つながった」と回答した（グラフ①）。
- ・低予算で自由に使える場合の駐車場利用については、企画が開催されていたら足を運びたいが80%で大部分を占めたが、「手軽に参加できるなら利用してみたい」といった利用意思のある回答も20%得られた。
- ・民間駐車場の空間利活用について90%が「支持できる」と回答した。回答の理由として、休日の寂しい印象のある駐車場を利活用したことに対する評価が多かった。また、遊び場や休憩できる場などの提供に対する評価も確認された。また、「支持できない」は0件であり、「どちらともいえない」の1件については、規模感を大きく開催した方が良いのではないかという意見であった。  
（※本設問については理由も回答いただいた。）（グラフ②）
- ・取組が継続した場合に期待することとしては、「規模の拡大」が50%で最も多く、他項目と比較しても多い。複数回答の内訳では、「規模の拡大」と合わせて「開催頻度(月1)」や「飲食・物販」等となった（グラフ③）。



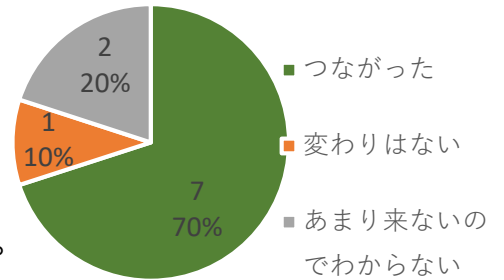
▲会場②の滞在風景



▲会場①の滞在風景

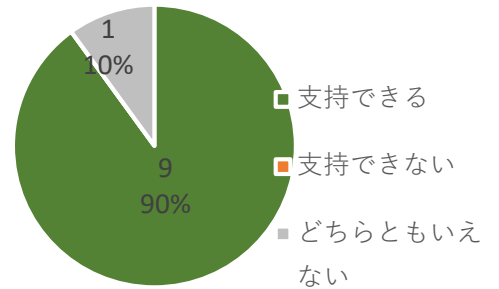
グラフ①

回遊性の向上・滞在時間の増加 N=10



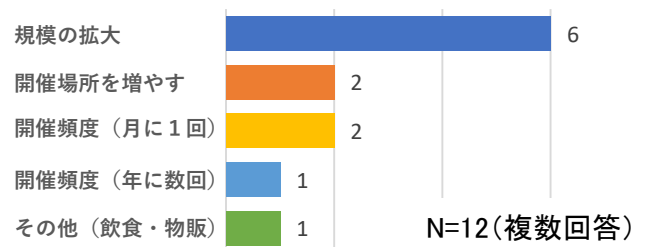
グラフ②

民間駐車場の空間利活用 N=10



グラフ③

取組が継続した場合に期待すること



## 5. 出店者意見

【営利目的で参加した出店者】

- ・イベント自体の集客力にもよるが、今回利用した範囲（駐車マス3マス分）で出展料が2,000円程度であれば、今後も出店しやすい。
- ・グループ（4組～6組）で参加できるのであれば、今後も同規模感での参加可能性はある。
- ・飲食等のジャンルと合わせて出店できるとより集客効果が高いと感じる。

【非営利目的で参加した出店者】

- ・活動や取組をPRすることができるため、イベント出店だけでなく、単独での出店も有意義と感じる。

## 6. 得られた知見と今後の方向性

○得られた知見

- ・イベントには、販売・サービス系の営利目的での応募が目立ったが、非営利での応募も確認された。
- ・会場①については、通常の時間貸し駐車場として利用しながら、駐車場の一部をイベント用地として活用することができた。
- ・駐車場空間の利活用として、来訪者からは取組に対して肯定的な評価を得ることができ、回遊性の向上や滞在時間の増加にもつながったことが確認できた。また、「手軽に参加できるなら利用してみたい」といった利用意思のある来訪者も確認できた。これらのことから、空間利活用による効果を確認できたとともに、身近な屋外空間としての価値を秘めていることを再確認できた。
- ・イベントに対する要望としては、飲食系の出店や規模の拡大などによるイベントとしての充実度を上げることが求められていた。

○今後の方向性

- ・イベント実施に係る手続き方法や出店者、駐車場事業者の収支イメージ等をまとめて各所に共有し、民間主体の取組を促進する。